

スピリチュアル物語

180話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

Skypeセッション 1時間\$75 90分\$110

メール相談 簡易コース\$11 / 通常コース\$33



「全ての人がライトワーカーとも言える…」マグワートの言葉をウイザットが反芻して呟くと、「つまり…人間全ての魂の中には良心という光が内在しているけれど、100%ライトワーカーの人も、常に100%ライトオフの人も居なくて、それぞれに発光レベルがあるし、また普段はライトワーカーであつても時にはオフになつてしまつたり、良心がオフになつている人であつてもオンになる状況や環境もあるので、そういう場合には役割を入れ替わつてお互いに光のスイッチを押ししたり、光を強めるきっかけを作り

合っている。よつて…全ての人がライトワーカーの役割を果たしているつてことですよね？」マジョリアルがまとめた。それに応えてマグワートが「まあそういうことじゃな」と頷くと「でもライトワーカー初級からライトワーカー師範までレベルがあるつてことだよな？」ウイザットが横から口を出す。「いや…そんな階級の様なものは無く、全ての人が等しくライトワーカーじゃよ」「え？でも発光レベルがあるつて…」「レベルと

にそれが光としてどのくらい出ているか…それを発光レベルと表現したんじゃ。魂的なスタンスでは…二元論でもなく、階級でもないんじゃないよ」「ふうん、成程お」ウイザットが納得した途端、「ところで、ライトワーカーとスピリチュアリストつて同じなんでしょうか？」マジョリアルが更なる質問をした。「なんだ、またニューワイドか」ウイザットが肩をすくめる。



★これまでのお話(1~179話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

www.majotomoe.com 2月17日号につづく